

令和 6 年度
第 1 回堺市堺区政策会議
議事概要

1 - C 8 - 2 4 - 0 1 6 3

令和 6 年度 第 1 回堺市堺区政策会議 議事概要

開催日時：令和 6 年 8 月 9 日（金）午後 3 時 00 分から午後 5 時 00 分

開催場所：堺市役所本館3階 大会議室

出席者：紅谷座長、東根職務代理者、亀田構成員、高岡構成員、成山構成員
藤本構成員、山口構成員

欠席者：岡田構成員、田邊構成員、長田構成員、中村構成員

【議事要旨】

（１）令和 6・7 年度重点取組と基本方針ごとの取組状況等についての意見

資料2「堺区チャレンジプランの改定について」をもとに、事務局から改定の趣旨、今後のスケジュール等について説明を行った。

資料3「令和 6・7 年度重点取組と基本方針ごとの取組状況等」をもとに、事務局から基本方針1～4の取組状況や成果等の説明を行い、構成員からご意見をいただいた。

○主な意見・感想

■基本方針 1 堺区の魅力が世代を超えて伝えられ、「郷土愛」が育まれていることに関してのご意見

- ・「郷土愛を持つ人」をまず見つけることが大切。家族や仲のいい人から言われたら関心を持ちやすく、それが堺市を知る機会になる。
- ・SNS のフォロワーの属性の把握について、20 代に向けてやっていたが、属性を見たら 40・50 代だったということがあるため、属性の把握が大切だと思う。
- ・10 月 13 日に大浜公園で第 5 回目となる「ヒト巡る、市場 2024」開催する。コンセプトも当初に比べるとブラッシュアップされてきた。SNS ネイティブ世代である自分たちは、SNS でお店を探すのが得意で、自分たちが全国からセレクトしたマルシェや野外音楽イベントを実施している。
- ・堺区公式インスタグラムのリール動画を何本か見たが、内容(堺区内のお店紹介)としては魅力的であった。ハッシュタグ、ストーリーズの機能でハイライトがあるので活用をしてみてもどうか。
- ・堺区は広いので、例えば「堺東エリア」のようにエリア別に作成するともっとよいと思う。
- ・大学の勉強資格課程センターでの話になるが、インスタグラムで事務手続きを発信しているものがあり、良い取組であると感じた。魅力発信と合わせて、行政の手続等の内容も発信することでフォロワー数を確保できるのではないと思う。
- ・小学生の夏休みの宿題には自由研究や絵画などがあるが、博物館のイベントへ連れていくことで、宿題として認められるものがあつた。親にとって負担が少なく、良い取組であると感じた。教育委員会とも連携をして、そういったイベントを増やしてもらいたい。

- ・子ども体験学習事業は郷土愛だけではなく、学校教育や保護者の支援を含む取組になっているかもしれないと思う。次回の計画の修正に向けて、新規項目として盛り込まなくても、今あるものを組み合わせるということも大事だと思う。
- ・市全体で取り組む業務なのか、区役所で取り組む業務なのかを整理してもよいと感じる。世界遺産登録を契機とした郷土愛醸成事業は、市全体業務で観光部局の業務に該当すると思う。子どものころに育む郷土愛醸成事業は、市全体というよりは、校区の中の小さなお寺での行事や海での釣り、夏祭りのイベントなど、小学校区レベルのものが郷土愛につながると思う。
- ・市役所全体の担当課が見ている地域のレベルと、区役所が見ている地域のレベルは異なる。区役所がやらなくてもいいことは市の担当課に引き取ってもらって、区は細かいところをみていけばいいのではないと思う。
- ・自転車タクシーの自転車修理代は、広告を載せるなど、ネーミングライツのように、民間企業と連携できる可能性があると思う。

■基本方針 2 人と人のつながりが地域を支え、活力が生み出されていることに関してのご意見

- ・地域活動や自治会活動など活動の一覧がホームページに掲載されていると探しやすく、紹介もできる。知るきっかけが限られているのはもったいないと感じる。
- ・地域活動実践者からボランティアが足りないという話も聞く。そういった方からも活動一覧の掲載は需要があると感じる。また、活動したい人も相談できるため、作成を検討してはどうか。
- ・地域活動の取組については、入ってもらうよりも退会されるのを食い止めている現状。自治会費を集めていても、「自治会はどんな活動をしているのか？」と言われる。入っていても入っていないでも差がないという感覚でやめていくことが多い。新規の入会者の確保も大事ではあるが、今加入している人に理解してもらうことも大事。
- ・郷土愛とあるが地域によっては、昔からのイベントがない地域もあり、その場合は自分たちで企画をしていかなければいけない。新しいイベントを実施しても、思っていることが伝わらないこともある。
- ・8月3日に第16回ガシフェスをMinaさかい広場で開催した。イベントでは、ジョルノと連携し昭和レトロや流行りのキッチンカーを出店した。また、K-POPや盆踊りも開催したところ、浴衣を着た人など意外に人がたくさん集まった。
- ・市民交流広場は、堺市全体でみても、ほかの地域にはない素晴らしい場所であるため、堺東の一等地にある広場を、地域の活性化としていかに活用していくかを検討してもらいたい。

■基本方針 3 おもてなしの精神で笑顔が溢れ、誰もが堺区に満足していることに関してのご意見

- ・住民票などの手続きで、区役所へ行ったときの対応が、民間のように良い対応であった。窓口対応向上の推進体制強化の取組が成果としてつながってきていると感じた。

- ・対話支援のスピーカーやイヤホン設置が、スムーズな対応につながったとあるが、窓口対応職員の負担軽減につながったという点が大事だと思う。利用者にとってのサービスを向上するためには、職員がイキイキ働けることも大事な視点である。

■基本方針 4 すべての人が生涯にわたって、安全・安心に住み続けていることに関してのご意見

- ・三国丘小学校の自主防災組織の活動支援で、5月19日にマンホールトイレと災害時給水栓「すいちゃんのビックリじゃくち」の設置体験会を行った。募集は、Google フォームを印刷したものを回覧板で回し、当日は飛び入り参加も含め 50 人弱の参加者があった。豪雨のため、当初予定していた屋外では出来なかったが、体育館でブルーシートを敷き、「すいちゃんのビックリじゃくち」を上下水道局職員に組み立ててもらい、マンホールトイレは 2 基だけ組み立てた。「すいちゃんのビックリじゃくち」を実際に見たことがなく、この場で初めて知った人もいた。
- ・マンホールトイレは、車いすを利用している参加者もいたので、健常者用 1 基と、身障者用を組み立てることとなったが、三国丘小学校にある堺市の青い災害用倉庫のある場所がかなり悪く、横に大木があり雨の中搬出がかなり大変であった。
- ・自治会の LINE 公式アカウントを活用し、大和川の水防倉庫の内覧会を情報発信したところ、たくさんの人が参加してくれた。LINE での情報発信も有効であると感じた。
- ・防災士の資格取得については、区役所の支援があり助かっている。
- ・地域安全推進事業の中で防犯カメラについて、維持管理は自治会となっている。初年度は費用負担が少ないが、限られた自治会予算の中で維持管理をしていくのは難しい。公設の防犯カメラを増やすか、既存の防犯カメラを市で管理してほしいという希望がある。
- ・「すいちゃんのビックリじゃくち」については、自治会では相当前から訓練で使っているが、新規の加入者には、断水したときに給水車来るまでに使えることを知ってもらいたい。地域の方でも、備蓄倉庫に何が入っているかも知らない方がいる。地域としては、倉庫の物資を全部出して、確認する訓練も行いたいと思っている。
- ・交通事故の対策、危険な場所、ミラーに木がかかり見えづらい、そういう危険な場所を細かく拾い上げて、地域の危険な場所、犯罪が起こりやすい場所などの情報を集めて対策をしていくのも大事なことだと思う。
- ・「防災体制の再構築」や「おもてなし」の取組に「誰一人取り残さない行政サービスの提供」という項目があるが、他部局連携で実施していることは素晴らしい。接遇など目に見えやすいところに対策が行きやすいが、行政で最も大切なのは、にこやかなサービスをすることより、きちんとした行政サービスを届けることが大事。特に福祉部局や防災との連携は安心安全の取組では大切であるので、ぜひ、部局間連携で誰一人取り残さないということを積極的に進めてほしい。